

社会人および大学院生を対象とした危機管理人材養成プログラムの実践 ー四国防災・危機管理特別プログラムー

徳島大学環境防災研究センター	正 会 員	○三上 卓
香川大学危機管理研究センター	フェロー	白木 渡
徳島大学環境防災研究センター	正 会 員	中野 晋
香川大学医学部	非 会 員	黒田 泰弘

1. はじめに

2014年5月に政府の地震調査研究推進本部から、南海トラフ巨大地震の今後30年間の発生確率が60～70%と公表された。今後、四国地域では南海トラフ地震等の大規模災害により深刻な被害の発生が予想されている中、香川大学と徳島大学では「防災」「減災」対策を支える人材育成を目的に、『平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業』に応募し、「四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家の養成」事業(5カ年)の採択を受けた。

2. 四国防災・危機管理特別プログラム

本事業は、通常の大学における専攻とは異なる研究科・専攻科横断型の特別プログラムであり、プログラム修了ことにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができ、四国防災共同教育センターからコース修了認定が受けられるとともに、香川大学・徳島大学から「災害・危機対応マネージャー®」(商標登録番号5740983)の資格認定証が授与される(図-1)。

2.1 プログラムにおける各コース

プログラムでは、両大学の大学院修士課程に「行政・企業防災危機管理マネージャー」「救急救命・災害医療・公衆衛生コーディネータ」「学校防災・危機管理マネージャー」の3コースを設け、社会が必要とする実践力を備えた防災・危機管理の専門家養成を行っており、

[1]行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織および地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を行うコース

[2]救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネー

キーワード 人材育成, 防災教育, 危機管理

連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 E-mail: mikami.taku@tokushima-u.ac.jp

タ養成コース

被災住民の視点に立って、災害時医療、医療機関のBCP策定、公衆衛生対策、メンタルヘルスサポート体制をコーディネートできる人材の育成を行うコース

[3]学校防災・危機管理マネージャー養成コース

地域のコミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画(ECP)策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を行うコースという位置づけになっている。修了年限は2間、カリキュラムを表-1に示す。受講生は共通4科目7単位、コース科目2科目4単位、実務演習科目1科目1単位の計7科目12単位を修得することになっている。

2.2 プログラムの特徴

本プログラムでは、3つの専門コースを備えているとともに、国立病院機構災害医療センター、香川県医師会、香川県看護協会など救急救命教育の協力体制が整っている香川大学、また鳴門教育大学、徳島文理大学、NPO法人ホワイトベースとくしまなど学校防災教育の協力体制が整っている徳島大学、両大学の強みを活かしたプログラム編成を行なっている。プログラムは遠隔講義システム(TV会議システム)



図-1 災害・危機対応マネージャーの商標登録とバッジ

表-1 カリキュラム表

区分	科目名称	単位数
共通科目	リスクコミュニケーション	2
	危機管理学	2
	災害と健康管理・メンタルヘルスケア	2
	防災・危機管理実習	1
行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成コース	行政・企業のリスクマネジメント	2
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2
救命救急・災害医療・公衆衛生対応 コーディネータ養成コース	災害医療マネジメント	2
	健康危機管理	2
学校防災・危機管理 マネージャー養成コース	教育機関のリスクマネジメント	2
	教育継続計画(ECP)の策定と実践	2
実務演習科目	行政・企業防災・危機管理実務演習	1
	救急救命・災害医療実務演習	1
	学校防災・危機管理実務演習	1

を利用することで、両大学の教育研究施設・設備を活用した多様な連携授業を各大学で受講できるメリットがある。

さらに、香川・徳島県下の行政機関、教育機関、医療・福祉機関、企業等のステークホルダーと連携し、受講生の実践力向上を図っている。外部評価委員会では、学協会、経済団体、行政機関等多方面・多分野の委員により、各年度末に委員会を開催し外部委員による評価や意見への対応・改善対策を提示する体制を取っており、ステークホルダーの方に防災・危機管理実習・実務演習等の授業を参観していただき、取組内容について意見を頂くとともに、受講生からの授業評価アンケートにより、毎年、授業改善を図っている。

2.3 プログラムの授業形態

本プログラムでは、遠隔講義システムを利用した授業を行うことで、香川大学および徳島大学の専門教員の授業を受講できることはもちろんのこと、授業時間を18:30～20:00（一部16:20～17:50）の時間帯で実施することで社会人受講生にも配慮している。授業を欠席した際には、録画ビデオの視聴することで授業内容の欠損の無いよう配慮している。さらに、各大学にはプログラム担当教員および事務担当者が常時しており、授業のスムーズな進行、ワークショップ等の実技におけるアドバイス等のサポートも行っている。

3. プログラム実施状況

本プログラムは、2013年度から受講生の受け入れがスタートし、修了および修了予定者数を表-2に示す（〔 〕内は社会人受講生）。本プログラムでは、社会人だけでなく、大学院生も受講していることで、身分や年齢が異なった受講生が講義だけでなくグループワーク等の実技を行うことで、様々な立場の考えや意見を知ることができる。

表-2 プログラム修了および修了予定者数

	2015.3 (修了)	2016.3 (修了)	2017.3 (予定)
行政・企業防災コース	37 [16]	11 [9]	30 [17]
救急救命コース	5 [5]	3 [2]	6 [6]
学校防災コース	3 [2]	3 [3]	7 [5]
合計	45 [23]	16 [14]	43 [28]

（〔 〕内は社会人受講生）

4. おわりに

本プログラムは、現在は香川大学と徳島大学の2大学連携事業であるが、2017年度からは、四国国立大学協議会、四国5大学連携防災・減災教育研究協議会などに呼びかけ、四国国立5大学連携事業として実施する予定である。さらに、修了生が四国地域における防災に寄与できるよう、フォローアップ研修の実施、修了生の地域防災活動の拠点となるNPO法人の設立等にも協力し、このプログラムが四国地域における防災・危機管理の人材育成の中核的プログラムとして位置づけられ、四国の防災・減災力向上に寄与することを目指している。